

一般質問通告書

令和5年第3回議会定例会（令和5年9月）

質問者（9名）

- ① 西 文 男
- ② 今 井 吉 男
- ③ 川 畑 光 男
- ④ 窪 田 仁
- ⑤ 外 山 利 章
- ⑥ 城 村 誠
- ⑦ 奥 山 雅 貴
- ⑧ 福 川 勝 久
- ⑨ 宗 村 勝



知名町議会

通告順	議席 9 番	西 文男	令和5年9月 日
1			時 分 ~ 時 分
1. 町政全般について			
<p>① 沖永良部は台風の常襲地帯である。今年の台風等で船、飛行機等の欠航は何日間で何便の欠航があったか伺う。</p> <p>② 台風 6 号で災害対策本部を設置し、指定されている町の避難所に避難された方々は町内で何名いたか伺う。</p> <p>③ 各避難所における非常用設備品等の設置はどうなっているか伺う。</p> <p>④ 台風 6 号は進路が迷走し外海離島の沖永良部では長期にわたって船舶等が欠航し、生活物資等が届かず生活に非常に危機感を感じた町民がいます。町はどのような対策を講じているか伺う。</p> <p>⑤ 台風の常襲地帯の沖永良部では台風が接近した場合ほとんど停電しています。電力会社とその原因を分析し、対策協議を実施しているか伺う。また過去 5 年間の年間停電日数は何日か伺う。</p> <p>⑥ 台風等災害時の停電のリスク軽減も含め発電所から役場庁舎、そして幹線道路等で先に無電柱化が必要だと思うが、町の無電柱化推進について見解を伺う。</p> <p>⑦ 知名町は農業立町で果樹栽培も盛んである。町の特産品の一つであるマンゴー収穫の最盛期に台風による停電、そして船の欠航により手塩にかけた完熟マンゴーが出荷できない状態にありましたが、町はどのような対策を講じたか、また他の農産物の被害や出荷の状況はどうだったか伺う。</p>			

× ε

A large rectangular area with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

通告順	議席 1 1 番	今井 吉男	令和5年9月 日
2			時 分 ~ 時 分
1. 町民生活最優先の政策について			
<p>① 今井町長は、令和2年9月議会において、「知名町気候非常事態宣言」を行い、さらに2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す、「ゼロカーボンシティ」を表明しました。はたして、二酸化炭素が実質ゼロになるのが先か、または毎年約100人減少している知名町の人口がゼロになるのが先か？</p> <p>② コロナ禍、公共料金値上げ、物価高騰により町民生活は非常に苦しい現状にある。経済支援等、町民生活第一の政策を最優先すべきではないか。</p> <p>③ 外海離島である沖永良部は、本土と比較して物価が平均2割高い上に、消費税が掛かるので二重の負担増となっている。奄美群島市町村会（会長・高岡秀規徳之島町長）で、生活支援策や消費税の軽減策を国に要望できないか。</p>			
2. 役場新庁舎建設の総事業費について			
<p>① 令和6年3月完成予定の役場新庁舎建設は、当初計画の事業費総額12億円でしたが、その後建設地変更に伴い、事業費は28億円となり、さらに土地購入費や備品購入費を合わせると約30億円規模となる見込みで、知名町歴代最大の大型事業になることが予想されるが、実際の新庁舎建設の総事業費はいくらなのか伺う。</p> <p>② 令和4年度末の町債（町の借金）残高は、79億7,000万円ですが、令和5年度末の町債残高は87億7,000万円の見込み額となっている。返済計画を町民に公表して、子や孫に多額の借金を残すことなく、今井町長が掲げる「子や孫が誇れる町づくり」を推進すべきではないか。</p>			

3. 教育行政について

- ① 田中教育長は、令和5年第1回議会定例会（3月7日）の一般質問において、中学校の部活動について、「令和4年10月に知名町地域部活動推進協議会を立ち上げ、今後は知名町地域部活動推進協議会の母体である、NPO 法人沖永良部スポーツクラブ ELOVE（イーラブ）を中心に専門性に秀でた人材を配置して生徒の指導向上を図っていく。」と答弁しましたが、令和5年8月までの実績を伺う。

- ② 6月27日に行われたサッカー日本代表キャプテンの遠藤航選手によるフローラルパークでのサッカー教室には、小学生から高校生までの約250人が参加し、遠藤選手からは「島から羽ばたく選手がどんどん出てほしい」とのエールがありました。将来プロサッカー選手を目指す子供たちの「夢」をいかに実現させるか、その体制づくりについて伺う。

メモ

通告順	議席6番	川畑 光男	令和5年9月 日
3			時 分 ~ 時 分
1. 新庁舎建設工事、施工状況について			
<p>庁舎建設において1階、2階、3階のコンクリート打設はほとんど終了したと思いますが、</p> <p>① それぞれの強度試験結果、養生状況はどのように管理しているのか。</p> <p>② 一部にコールドジョイントがあるようですが補修はどのような施工を行うのか。</p> <p>③ 2階のコンクリート打設が一部遅れたようですが、建設工事全体には影響はないか伺う。</p>			
2. 田水団地の管理について			
<p>田水団地の天井の爆裂と、雨漏りについてどのような補修を行うのか伺います。</p>			
3. 海岸防災林造成事業の防潮堤管理について			
<p>① 海岸防災林造成事業の防潮堤において海岸にある階段の手すりがなく、また人が通れない状態になっています。今後の工事計画について伺います。</p> <p>② 防潮堤の一部に通行できない場所があるが、今後どのようにする計画か伺う。</p>			

4. 道路整備工事について

瀬利覚字の町道のハジロクボ線、東海岸線、墓道の畑地帯総合整備事業後の復旧工事の予定について伺います。

5. 消火栓、防火水槽について

消火栓、防火水槽の管理について伺います。

メモ

通告順	議席5番	窪田 仁	令和5年9月 日
4			時 分 ~ 時 分
1. 農業振興について			
<p>第6次知名町総合振興計画で町長が掲げる「21の暮らしを大切に、21の未来を創る子や孫に誇れるまちづくり」のアクションプラン15の「稼げる地域をつくる農業・水産業・観光業を軸とした農商工等連携や六次産業化の推進」について伺います。</p> <p>① 稼げる地域づくりとして、農地の無い新規就農者や1ターン者が農地や農機具を借用できる仕組みができないか。</p> <p>② 県の地域振興事業のグラジオラス球根助成事業は、生産者増と事業拡大に期待ができます。他業種からも参入できる継続的な事業にできないか伺います。</p>			
2. ドクターヘリについて			
<p>沖永良部から沖縄の浦添総合病院への距離は、県立大島病院とほぼ同じです。沖縄県は、救急病院医師やスタッフの人員が多く高度な医療が可能です。生命は平等であることから救急患者やその家族の要望を尊重し、沖縄県の医療機関へ搬送できるような柔軟な対応ができないか伺います。</p>			
3. 道路整備について			
<p>屋子母字は大雨の度に字内や農地に濁流が流れ込む状況です。</p> <p>① 県道(国頭知名線)の屋子母字地内は、大量の水が側溝に集まり、県道を横断する暗渠から字内や農地に排水されて濁流となり、被害が発生しています。県道の側溝の整備と、横断暗渠の有効な整備対策について伺います。</p> <p>② 町道(屋子母字内線)は、沖永良部バスや利用者が多く重要な幹線道路です。側溝がないので雨が降ると、県道と農道から水が流れ込んで道路は濁流となり歩けなくなります。低い畑に流れ込んだ水は農作物に被害を与えます。町道に側溝をつくり道路舗装整備ができないか伺います。</p>			

庁舎完成に伴い交通量が多くなると思われる瀬利覚側の道路整備について。

- ③ 新庁舎に並行する町道（瀬利覚モーク線）は、道幅が狭くて車の往来ができません。道路拡張や道路整備について伺います。
- ④ 町道瀬利覚名畑線と農道瀬利覚3号線の十字路は、見通しが悪く町道瀬利覚名畑線が優先道路である。道路の中央白線が消えて危険です。道路整備について伺います。
- ⑤ 農道（瀬利覚3号線）は、凹みがあり車が大きくバウンドして危険です。農道整備について伺います。

メモ

通告順	議席12番	外山 利章	令和5年9月 日
5			時 分 ~ 時 分
1. 災害時の対応と備えについて			
<p>① 台風6号の迷走により長期間、船が欠航し物資の輸送が停滞した。特に多くの生鮮食料品が欠品し、生活に大きな影響を与えた。食料安全保障の面からも、「食の自足」に向けた取り組みを推進すべきと考えるが、どのような対策を検討しているか。</p> <p>② 台風の接近や大規模災害時における各字の避難所運営の体制は構築されているか。また業務継続計画（BCP）に基づいた訓練、内容の見直し等も行われているか。</p>			
2. 農業振興について			
<p>① 「みどりの食料システム戦略」ではSDGsや環境に配慮した農業生産目標の設定など、国の農業に対する大きな政策転換が行われようとしている。本町においても今後それに基づいた農業振興が必要だと考えるが、どのような施策を進めていくのか。</p> <p>② 持続可能な農業振興を考える上で、中長期的なビジョンに基づいた振興策の策定が不可欠であると考え、その策定に向けた取り組みを進めているか</p>			

3. 文化財の保存、活用について

- ① 本町における文化財の保存と活用について、今後どのようなビジョンをもって進めていくのか。
- ② 琉球列島中部文化圏の独特な生活様式や生態系の復元、他地域との交流を知る上で重要な遺跡として平成19年に国史跡に指定された「住吉貝塚」の整備に向けた取組が進んでいないが現在の進捗状況と整備着工、公開は何年度を予定しているか。

メモ

通告順	議席3番	城村 誠	令和5年9月 日
6			時分 ~ 時分
1. フローラルホテルの台風時の対応について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 長時間停電時の非常電源は確保できているのか。 ② 断水によりトイレ使用ができなかったと聞くが、適切な対応はとれたのか。 ③ 宿泊者への食事提供の質と金額は考慮されていたのか。 			
2. 水道水硬度低減化後の水道料金について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 「議員と語る会」において、町民から水道料金値上について懸念の声が聞かれたが、いつごろ示せるのか。 ② アンケート調査も必要だと思われるがいつごろ実施するのか。 			
3. 知名町消防団について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 消防車、分団車庫の配備・整備計画はどうなっているのか。 ② 各分団の欠員状況はどうなっているのか。 ③ 財政的に分団の現状維持は可能なのか。人口減少も見据え、再編協議も必要ではないか。 			

× ε

通告順	議席2番	奥山 雅貴	令和5年9月 日
7			時分 ~ 時分
1. 移住、定住について			
<p>本町への移住希望者、Iターン希望者への誘致や町の魅力の発信、相談などどのような対応を行っているのか伺います。</p>			
2. フローラルホテルについて			
<p>近年において職員の退職が目立っているが、原因を把握しているのか。</p>			

× ε

A large rectangular area with horizontal dashed lines, intended for writing or drawing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page.

通告順	議席1番	福川 勝久	令和5年9月 日
8			時 分 ~ 時 分
1. ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ事業について			
<p>① 脱炭素先行地域として、2030年に民生部門における電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロに向け取り組んでいます。計画変更等により遅れが生じていると思います。最終年度までに達成できるのか、また目標達成のための今後の総合的な計画は策定されているのか伺います。</p> <p>② 令和5年度地域脱炭素移行再エネ推進交付金が636,854千円内示されていますが、8月末現在の交付金ベースでの予算執行状況をお伺いします。</p>			
2. 町政報告会、説明会について			
<p>① 町民は町長から町の事業報告や課題等の説明、町長との対話を求めているので、定期的な開催が必要であると思いますが、開催予定があるのかお伺いします。</p>			
3. スポーツ少年団活動について			
<p>① 町の人口減少や少子化の影響により、スポーツ少年団の団員数が減少しております。郡内での大会参加時にメンバーが満たない場合、同じ島内である隣町との合同チームで参加できるように規定を変えてもらえないか伺います。</p> <p>② 島内での大会には合同チームで参加しているが、島外での大会には合同チームでの参加が認められない事があるので、スポーツをしたい子供たちが、しっかり取り組める環境を整備できないか。</p>			

× ε

通告順	議席10番	宗村 勝	令和5年9月 日
9			時 分 ~ 時 分
1. 防災について			
<p>① 6月に発生した集中豪雨により沖永良部島内において床上浸水や床下浸水、農地の決壊等の災害が発生しました。復旧状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>② 7月に襲来した台風6号により、沖永良部島を含め西日本地方は風や雨による甚大な被害を受けました。本町においては高齢者等避難指示が発令されました。</p> <p>1 避難された避難場所は何施設だったのか</p> <p>2 避難所の設備に不備はなかったのか</p> <p>3 避難された町民の不安や不満等はなかったのか</p>			
2. 台風による停電の復旧について			
<p>台風6号による停電がありました。特に上平川・久志検・赤嶺・竿津地区においては電線路の末端にある関係上、毎回長時間による停電が強いられています。電線路の変更等を電力会社に要請できないか。</p>			
3. こども家庭庁の発足を受けて			
<p>本年4月に日本政府の行政機関のひとつで、こども家庭庁が発足されました。こどもがまんなかの社会を実現するために、こどもの視点に立って意見を聴き、こどもにとって一番の利益を考え、こどもと家庭の福祉や健康の向上を支援するとあります。本町における取組等を伺う。</p>			

× ε